

令和5年2月9日

## 質 問 事 項 ・ 回 答

案件名称： 鶴見工場土壤汚染状況調査（表層）等業務委託

大 阪 広 域 環 境 施 設 組 合

番号	質問事項	回答
1	<p>仕様書番号：5（1）ア</p> <p>地歴調査精査後に作成する計画書案は、表層調査のみで宜しいでしょうか。</p> <p>絞込み及び深度計画書は表層調査結果を鑑みて作成するという認識で宜しいでしょうか。</p>	<p>仕様書のとおり、作成する計画書案は深度計画書案です。</p> <p>仕様書のとおり、作成する絞込計画書及び深度計画書案は表層調査結果も含めて検討してください。</p>
2	<p>仕様書番号：5（1）ア</p> <p>実施済みの地歴調査は、大阪市環境局への提出または内容共有をされているでしょうか。</p>	<p>大阪市環境局と協議等を行い、地歴調査を実施しています。</p>
3	<p>仕様書番号：5（2）イ</p> <p>位置座標（標高を含む）を把握すること、と記載がありますが、全ての地点の標高測定が必要でしょうか。</p>	<p>仕様書のとおり、本調査に必要となる全ての地点で標高測定が必要です。</p>
4	<p>仕様書番号：5（2）エ</p> <p>「採取した試料は地点混合等を行わず、・・・適切に保管すること」と記載がありますが、1地点あたり、どの程度の試料量を保管しておく（多めにサンプリングしておく）必要があるのでしょうか。個別調査を実施する可能性があるため、その追加分析が可能な程度の試料量を保管すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>試料量は土壌汚染状況調査（表層絞込み）の分析に必要な量とします。</p>

5	<p>仕様書番号：7（3）業務遂行上の注意事項</p> <p>土壤汚染調査技術管理者を本業務の業務責任者として従事させることと記載がありますが、調査期間中は土壤汚染調査技術管理者を常駐させる必要があるのでしょうか。</p>	<p>仕様書のとおり、土壤汚染調査技術管理者を本業務の業務責任者として従事させることとしていますが、常駐とはしていません。</p>
6	<p>その他</p> <p>表層土壌採取又は配管水路下土壌採取において、地下ピット内部や地下階での作業は発生しないという認識で宜しいでしょうか。</p>	<p>表層又は配管・水路下の土壌採取において、地下ピット内部や地下階での作業は発生しません。</p>
7	<p>配管・水路下地点の採取深度設定</p> <p>配管・水路下地点の採取深度設定は地点ごとにあらかじめわかっていますでしょうか。それとも、関係するマンホールを全部開放したり、マンホールや調査地点の高さを測量して試料採取深度を決定しますでしょうか。</p>	<p>仕様書のとおり、本業務は受注者が本仕様書及び本組合から貸与する資料等の内容を踏まえ、現地での測量等を行い、試料採取等の現地調査を実施します。</p> <p>測量は本業務に含まれます。配管・水路下地点の地点ごとの採取深度は現時点で不明です。</p>
8	<p>配管・水路下地点の第二種特定有害物質の採取深度確認</p> <p>土壌採取のうち配管・水路下のうち、ダイオキシン類試料採取含む36箇所について、配管・水路下から-0.05mを採取となっていますが、配管・水路下から-0.5mを採取しなくてよいということでしょうか</p>	<p>内訳書の「項目：試料採取 摘要・形状・寸法：土壌採取の4段目」について誤りがありました。</p> <p>正しくは GL＝配管・水路下：(-0.75m～-2.1m) から-0.05m 及び-0.5m を採取です。</p>
9	<p>配管・水路下地点の平均深さ</p> <p>配管・水路下の深度は-0.75～-2.1mと幅がありますが、全地点平均で何mでしょうか。</p>	<p>配管・水路下の全地点平均深さは不明です。</p>

10	<p>配管・水路下地点の自走式マシンの対応の可否</p> <p>配管・水路下地点は、自走式マシンの作業スペースとして3m×2.5m×4m高さ以上のスペースが確保できているのは何地点がありますでしょうか。また、マシンの移動経路として2.5m幅×2.5m高さはが確保できているのは何地点がありますでしょうか。</p>	<p>仕様書のとおり、本業務は受注者が本仕様書及び本組合から貸与する資料等の内容を踏まえ、現地での測量等を行い、試料採取等の現地調査を実施します。</p> <p>測量は本業務に含まれます。自走式マシンの作業スペースを確保できるかは現時点で不明です。</p>
11	<p>配管・水路下地点の埋め戻し</p> <p>配管・水路下の地点は、分析用試料分取後の残試料をもとの層順で埋め戻すことでよいでしょうか。</p>	<p>仕様書のとおり、清浄な土壌を用いて埋戻しとします。</p>
12	<p>埋設配管等破損防止</p> <p>埋設配管等破損防止として、表層は手掘り、配管下や排水処理施設下地点は1mまで手掘りで1m以深は機械掘り（自走式マシンまたはハンド式マシン）という考えでよいでしょうか。</p>	<p>試料採取の方法を深さによって指定していません。</p> <p>埋設配管等を破損しないよう、試料採取の方法を考慮してください。</p>
13	<p>作業制限</p> <p>地点による作業時間の制限はありますか。また、休日限定があれば、どの区画が該当するでしょうか。</p>	<p>仕様書のとおり、焼却工場建替工事、収集運搬作業、工場閉鎖作業等に係る地点には作業時間の制限があります。</p> <p>仕様書のとおり、焼却工場建替工事、収集運搬作業、工場閉鎖作業等に係る区画には土、日、祝日及び時間外の作業になることがあります。</p>
14	<p>○内訳書 項目：試料採取 摘要・形状・寸法：土壌採取の4段目 「GL=配管・水路下：(-0.75m~-2.1m)から-0.05mを採取」の数量36箇所について、 -0.5mの採取は必要ないでしょうか。</p>	<p>質問事項8の回答のとおりです。</p>